

悪条件下の水田圃場整備のあり方を問う

プロジェクトチームで進めていく



中倉 広文 議員

水田基盤整備の問題点は何か

将来の食糧基地として大きな期待を受けていると思われる本県は、経済発展を続けるアジア地域を視野に入れた戦略性の高い農業の展開を図ろうとしている。県内でも広大な農地を有する本町においても、農業基盤整備など早急な対応が迫られているが、未だに進んでいない本町の水田基盤整備の問題点はなにか。

受益者負担金などが大きな課題

町長

対象地権者の圃場整備への熱意や同意、また受益者負担金などが大きな課題である。

対象地権者の圃場整備への熱意や同意、また受益者負担金などが大きな課題である。

整備地区においての問題点はないか

中倉議員

現在整備を行っている地区や、実施済みの地区においての問題点はないか。

硬盤形成や暗きよ排水が問題

町長

本町では早期水稻の作付けが多く、その水稻収穫後に工事を実施することになる。工期の関係で完成した圃場は工事後1か月も経たない内に代掻きや田植えを行うことから、整備後の硬盤の形成や暗きよ排水などがうまく機能するかが問題点で

中山間地における課題は

中倉議員

山間の水田においては、耕作放棄地が各所で発生している状況である。中山間地での課題をどのように捉えているか。

補助事業の要件に該当しない

町長

基盤整備を実施する場合、補助事業での圃場整備を基本としているが、補助事業にもさまざまな要件があり、その要件に該当しない地域もたくさんある。そのようなところも、有効な農地に置き換えて生産性を高めていかなければならないが、なかなか進んでいない。



近年増え始めている耕作放棄地

超湿地地帯にある泥炭の利活用法は

中倉議員

泥炭水田においては田面の均平作業や、部分的に硬盤層をつくるための客土など、過剰なコストが発生し、割と平坦地であるにもかかわらず生産意欲を失わせる一つの要因にもなっている。過去にも質問したこの泥炭層の利活用については現在どのような状況か。

現段階では見つからない

町長

泥炭層のもつ特性を生かして堆肥化できないかなど調査をしてきたが、販売の面で難しいという回答を専門家から頂いた。その他、湿地地帯でも作付けできる野菜類はないか模索し実証しようとしたが、現実には至らず現段階では見つからない。

受益者主体の整備を実施すべき

中倉議員

長野県のある自治体では、山間にある条件の悪い水田の基盤整備を、国の補助金等に頼らず、しかも設計から施工まで水田の耕作者と行政職員で実施している。非常に安価な事業費で、かつ使い勝手の良い圃場に整備しているようであるが、本町でもこのような受益者が主体となった圃場整備はできないか。

プロジェクトチームをつくり進めていく

町長

今までは国・県の補助金を活用した圃場整備を中心に考えており、独自に進めていかなかった。基盤整備の必要性は十分感じているので、関係する職員でプロジェクトチームをつくって進めていく。

協議の時期とスタッフの考えは

中倉議員

本町の基幹産業である農業の土俵ともいえる農業基盤整備は大変重要な課題である。プロジェクトの協議開始時期とスタッフについての考えはあるか。

7月から農政関連など7名程度で開始

町長

7月には始めたいと考えている。関わるスタッフは、農政サイドや関連する職員7名程度を考え、必要に応じてさらに人員を増やしていきたい。